

実践経営学会第65回全国大会開催に寄せて



実践経営学会会長
夏 日 重 美

実践経営学会第65回全国大会は、ご案内のとおり、八戸学院大学において開催の運びとなりました。金沢星稜大学（第62回）以来、会員諸氏待望の対面開催を予定しております。

東京都立産業技術大学院大学（第63回）、亜細亜大学（第64回）関係各位のスムーズな運営に助けられ、当初戸惑い気味であったコロナ禍のWeb開催も大過なく禍を福となすことが出来ました。本学会のみならず大学・企業・行政・家庭におきましても同様の状況を産み出し、社会の状況を一変させております。大学のハイブリッド型授業、企業の在宅勤務拡大、行政機関の各種催しのWeb開催、遠隔地の家族間交流は元より、高齢者をWeb上に集めて交流することも行われるようになりました。コロナ禍は未だ予断を許しませんが、一歩ずつ克服の道筋を辿り始めました。

その矢先、ロシアのウクライナ侵攻による戦禍の勃発、瞬く間に世界を暗鬱の闇に包み込みました。穏やかな日常が突如として崩壊する戦争の恐怖、信じ難い映像が日々映し出されています。人々の幸福と分かち合いの公器として機能すべき国家が、一夜にして暮らしと命を奪い去る悪器と化す現実を生々しく見せつけられ、「またしても」の思いに駆られます。アルバート・アインシュタイン&ジグムント・フロイト著/養老孟司解説/浅見昇吾編訳/小田謙爾付録執筆『ひとはなぜ戦争をするのか？—アインシュタインとフロイトの往復書簡』花風社2000は、1932年当時の国際連盟委員会の依頼を受け、アルバート・アインシュタインからジグムント・フロイト宛に出された書簡とその返書を復刻した書物です。第二次世界大戦勃発間近のナチズム台頭の時代、二人のユダヤ人平和主義者の往復書簡は、90年の歳月を経てなお未解決の人類の課題を喝破しており、養老孟司の解説文や付録年表と合わせて一読すると今も震撼とします。

このたび全国大会の開催される八戸学院大学の所在する青森県は、八戸市の是川遺跡群をはじめとし、青森市の三内丸山遺跡、小牧野遺跡、弘前市の大森勝山遺跡、つがる市の亀ヶ岡遺跡、外ヶ浜町の大平台山元遺跡、七戸町の二ツ森貝塚など、旧石器時代から続く遺跡の宝庫であります。考古学的発見と科学的解析技術の発展と相まって、民俗学・社会学・宗教学・文芸・哲学など、あらゆる分野の人々の叡智を結集し、文字記録の残らない時代の解明に取り組んでいます。この地域に住んだ人々の幾万年に及ぶ生業の証は、この国の成り立ちをも問い直すムーブメントを引き起こしています。

実践経営学会の課題は、遠い過去や未来を展望することよりも、直面する現実の経営課題に真摯に向き合うことを本旨とすることは云うまでもありませんが、人類が地球に足跡を残して以来、疫禍や戦禍、無数の飢餓や災害を凌駕して生き続けている事実と、その延長線上に素描されるあるべき未来の手がかりを展望することもまた意義あることと信じています。

地球は一つホモサピエンスの春愁ひ 重美

令和4年 暮春

ご挨拶

第65回全国大会実行委員長

田村正文（八戸学院大学）



統一論題:

「地域間交流時代の経営」

2022年3月末にて丹羽浩正先生（本学会常任理事）がご退職されましたことから、大会実行委員長を引き継ぐこととなりました、八戸学院大学の田村正文と申します。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

実践経営学会第65回全国大会は、現本学会会長の夏目重美先生による強い要望もあり、2022年8月26日（金）[常任理事会・理事会]、27日（土）[統一論題 報告・自由論題報告]、28日（日）[自由論題報告・会員総会]の3日間、青森県八戸市にて開催する運びとなりました（例年よりおおよそ1週間程度早い開催となります）。

歴史ある実践経営学会の全国大会におきましても、実に十数年ぶりの東北地方での開催となります。その間にも2011年の東日本大震災、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大など、今までに経験したことのない非常に大きな出来事に直面してきました。

しかし同時に明るい話題も数多くあります。三陸復興国立公園として、青森県八戸市の種差海岸から宮城県に至る三陸海岸一体が指定されたことに加えて、2021年には「世界文化遺産」に北海道・北東北3県の縄文遺跡群が指定されるなど、点から線や面として広域的な観光資源が誕生しました。さらには三陸自動車道の全線開業など、交通アクセスの面でも利便性が向上しました。そのため、観光をはじめ多くの産業においても、地域内で完結するのではなく、地域間で広域的に展開する重要性が再認識されるようになったかと思われます。

今回の全国大会では、自由論題報告者のみならず、多くの方々のご参加をお待ちしております。多くの会員の皆様におかれましては、北東北地域はなかなかお越しいただく機会が少ないかと思われませんが、今大会を機会に、是非ともお時間が許す限り、周辺地域にも足を運ばれ北東北での夏休みをどうぞご満喫ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によっては、前回大会同様にオンライン開催へ変更となる場合もございますので、予めご了承ください。

プログラムの概要

8月26日（金）

- ① **Excursion（学会研修ツアー）** ※天候状況・道路事情などにより、訪問先等が変更になる場合がございます

12：00受付（八戸駅西口）

集合場所 JR東北新幹線「八戸駅」（大会貸し切りバスにて移動）

予定地 櫛引八幡宮 — 是川縄文館 — 種差海岸 — 蕪島神社 — 男山酒造

16：45解散（八戸グランドホテル前）

- ② **常任理事会** 17：00～18：00（八戸グランドホテル）

- ③ **理事会[夕食兼]** 18：00～（八戸グランドホテル）

※いずれも参加招待につきましては別途お知らせします。

また、議事進行上、理事会開催に つきましては、若干の時間が遅れる場合もございます。ご了承くださいませ。

8月27日（土）

- ① **統一論題報告・自由論題報告**

参加受付 9：30～

自由論題報告 10：00～12：10

- ② **開会式・統一論題シンポジウム**

開会式 13：30～13：50

- ③ **統一論題シンポジウム** 14：00～

シンポジウム解題 「地域間交流時代の経営」

第1講演 「（仮）地域資源を活かした商品開発、マーケティング」

第2講演 「（仮）三陸復興国立公園と北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産」

〈パネルディスカッション〉（会員質疑・討論含む）

※シンポジウムの講演者は、現在調整中です。決定しましたら改めてご案内致します。

本部事務局よりの連絡 板倉宏昭（東京都立産業技術大学院大学）

- ④ **研究・情報交流会** 18:00～（八戸プラザホテル）

8月28日（日）

自由論題研究報告（八戸プラザホテル）

【ご宿泊につきまして】

八戸市には、東北新幹線の八戸駅と、JR八戸線の本八戸駅がございます。
学会会場、繁華街に近いのが本八戸駅でございます。
ご宿泊先としては、八戸市中心部のホテルをお勧めいたします。
なお、実践経営学会でお越しの皆様は、八戸プラザホテルが8/26～8/28のご宿泊につきましては、1泊朝食付きで7,000円でご用意しております。
ご希望の方は、直接八戸プラザホテルへご連絡願います。
実践経営学会に参加の旨をお申し出ください。
なお部屋数に限りがございますので、満室の場合には他のホテルをご紹介いたします（ただし料金は異なります）

【住所】〒031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目6-6 【TEL】 0178-44-3121
（ご予約の際に「実践経営学会出席」とお申し出ください） 1泊朝食付7,000円



八戸プラザホテル
<https://plazahotel.jp/>

第65回全国大会自由論題報告者の募集について

第65回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- (1) 会員であること(非会員との共同報告は認められません)
- (2) 2021年度までの年度会費に未納がないこと(共同報告者も同じ)
- (3) 2022年度会費が、報告論文の提出期限2022年7月3日(日)までに納入されていること

2. 応募方法 「自由論文提出先：実行委員会アドレス【jsam65.ronbun@gmail.com】」

下記の項目を明記の上、「実行委員会(自由論文提出用)アドレス」【jsam65.ronbun@gmail.com】に申し込みください(メールの件名は「JSAM第65回大会自由論 題報告応募」で願います)。共同報告の場合は、共同報告者の(1)、(2)、および主たる報告者の(5)についても明記ください。なお、報告日時・時間帯のご希望はお受けできません。

- (1) 氏名(ふりがな)
- (2) 所属機関名・肩書(大学院生の場合は「課程」を明記)
- (3) 報告テーマ
- (4) 報告論文の概要(400字程度)およびキーワード(3~4語)
- (5) 連絡先(メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX番号)

3. 応募期限 2022年6月4日(水) 23:00必着 ※期限厳守でお願いいたします。 8日

4. 報告論文の提出期限 2022年7月3日(日) 〆切厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなり、大会当日の報告は認められないことになります。

5. 報告論文の提出

報告者は、作成した報告論文を、実行委員会まで、メール添付にてお送りください

※郵送での送付については、今回認められません。

メールの件名(表題)は「JSAM第65回大会報告論文送付」としてください。

また、編集作業の都合上、報告論文はWordによる作成をお願いいたします。

学会HPよりWordファイルの雛形をダウンロードしてご使用ください。

また、校正の機会は設けておりません。メール送信時は、確認願います。

自由論文提出先：「実行委員会アドレス」【jsam65.ronbun@gmail.com】

6. その他

何かご不明な点がございましたら、「実行委員会アドレス」【jsam65.ronbun@gmail.com】、

もしくは本部事務局【jsam.headoffice@gmail.com】までお問い合わせください。

以上

自由論題報告および報告論文『実践経営学研究』論稿提出手続きの案内

下記の日時まで、通知・提出のこと(日時時間厳守)。

【大会までの諸手続き】

日 程	手 続 き	申し込み・送付先
6月1日(水) 23:00必着	自由論題報告希望者申し込み (所属・氏名・論文テーマ、等を記載)	【jsam65.ronbun@gmail.com】
6月8日(水)	大会実行委員会による報告者の決定 (基準は「発表機会の公平性」、などから)	報告不採択者のみに通知
7月3日(日) メ 切	報告論文『実践経営学研究』論稿提出 (学会HP掲載の形式に準拠)	【jsam65.ronbun@gmail.com】
～8月28日(日)	詳細プログラムと『実践経営学研究』を 学会HPに掲載	学会HPに掲載予定

大会実行委員長 田 村 正 文(八戸学院大学)

大会実行事務局長 井 上 ^{あかし} 丹(八戸学院大学)

2022年入・退会者のお知らせ

入 会 者	ご 所 属	担当支部	承認日
今 井 利 次	(株)スカイフォールコンサル	関東	2021/11/8
堀 野 裕 子	EY新日本有限責任監査法人	関東	2021/11/26
山 崎 督	城西国際大学	関東	2022/1/15
今 村 康 子	(株)ANA総合研究所	関東	2022/2/4

退会者

坂本桂二 古川 克 信川景子 石井康夫 大西久司
 白木俊彦 塩谷未知 石田修一 鈴木康之 岩田礼子
 菊池真一 千葉直美 西木秀磨 田島良輝

実践経営学会事務局からのご連絡

■住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com（本部事務局会員情報管理専用メールアドレス）までご連絡ください。

■会費納入のご案内

会費納入の通知をお届けしますので、よろしくお願ひします。学会活動は会員の会費によって支えられております。全国大会および各地域支部会における報告資格は「年会費を納入済みの会員」となっております。ご留意ください。

会員情報などのお問い合わせ・ご連絡先は、jsam.headoffice2@gmail.comまで

■学会ホームページにて最新情報を掲載しております

実践経営学会ホームページ（<http://www.jsam.org/>）では最新情報を随時掲載しております。各支部からの情報やその他のお知らせを掲載しておりますので、ホームページをご活用ください。また、ご登録いただくことにより、ニュースをメールで受け取ることができますので是非ご利用ください。

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2022年5月15日

発行所：実践経営学会

発行者：会長 夏目重美

[本部・本部事務局] 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 板倉宏昭研究室内

制作：(株) マインド